



まいづる市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 184

令和5年(2023)
2月8日

- 令和4年度一般会計補正予算を可決
- 消防団条例の一部を改正する条例を可決
- 第21期舞鶴市議会基本条例実行計画を策定
- 令和5年第1回臨時会を開催
- 「議会の信頼回復に関する決議」を可決

主 な 内 容	12月定例会のあらまし	2
	常任委員会の審査報告	2
	各会派討論の内容	4
	議案の採決結果	6
	一般質問	8
	第1回臨時会のあらまし	16
	決議	16
	「市民と議会のわがまちトーク」開催案内	19
	第21期議員の抱負	20
	第21期舞鶴市議会基本条例実行計画を策定	22
特別委員会を設置	24	
3月定例会の予定	24	
編集後記	24	

議会だよりはこのコードから
ご覧いただけます。



1年の安全・安心を願って



(令和5年 舞鶴市消防出初式より)

12月定例会のあじまし

- **オミクロン株対応および乳幼児を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種事業費、コロナ禍の長期化に加えて国際情勢に起因する原油価格や物価高騰等に直面する農業者および漁業者等の負担軽減を図る原油価格・物価高騰緊急対策事業費や、市内事業所販路拡大を促進するふるさと応援推進事業費など、総額2億9397万円の令和4年度一般会計補正予算(第6号)を可決**
- **国の緊急対策「こどものバス送迎・安全徹底プラン」に基づく安全管理の徹底を強力に推進するための子どもの安心・安全対策支援事業費補助金など、総額3776万円の令和4年度一般会計補正予算(第7号)を可決**
- **安心して出産・子育てができるよう妊婦・子育て家庭に寄り添い身近な相談に応じながら、多様なニーズに即した支援につなぐ「伴走型相談支援」の拡充や、新たな経済的支援として出産応援ギフト(5万円相当)、子育て応援ギフト(5万円相当)を一体的実施する出産・子育て応援事業費に7220万円の令和4年度一般会計補正予算(第8号)を可決**

令和4年12月定例会は、令和4年12月5日から27日まで23日間開催されました。市長から提案された令和4年度一般会計補正予算のほか、条例制定などの17議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・同意されました。加えて、議会提出議案として「特別委員会の設置」のほか、「舞鶴市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定」などの3件を可決しました。

予算決算委員会の 主な審査内容

令和4年度一般会計
補正予算(第6号)

ふるさと応援推進事業費

Q ポータルサイト等の手数料が、事業費の約20%を占めているがこの手数料の割合は妥当と判断しているのか

A 各ポータルサイトは、おおむね同じような割合となっており、妥当と考えている。ポータルサイトの手数料約10%と、返礼品の手配等を委託している地域商社の手数料を合わせて約20%となっている。

マイナンバーカード 利用促進事業費

Q 現在の交付状況は

A 12月11日現在、本市の交付率は57.5%、申請率は71.6%である。

新型コロナウイルス ワクチン接種事業費

Q 乳幼児については新型コロナウイルスワクチン以外の定期接種もあるが、接種間隔の

兼ね合いなどについて の考えは

A 新型コロナウイルスワクチンはインフルエンザワクチンを除き、他の予防接種と2週間接種間隔を空ける必要がある。接種間隔の関係で調整が必要な場合、コールセンターで日程の変更を受け付けており、体調不良等の場合も直近の接種できる日を案内するなどの対応をしている。

乳幼児接種の緊急 時の対応は

A 乳幼児の新型コロナウイルスワクチン接種は、舞鶴医療センター内の地域医療研修センターで行うため、緊急時も舞鶴医療センターの救急で対応いただくよう調整済みである。

新型コロナウイルス 感染症対策中小企業 雇用調整助成金

Q 企業の経営悪化が新型コロナウイルス感染症に起因するものかどうかを、どうして見極めるのか

A 過去と比較して10%以上など、主に売上高の減少をもって判断している。

農業者原油価格・物価 高騰緊急対策事業費

Q 原油価格・物価高騰支援の対象となる経営体や耕作面積の基準は

A 法人等には10万円、認定農業者、認定新規就農者で耕作面積が5ヘクタールよりも大きい人には10万円、それ以下の人には5万円を給付する。

経営発展支援事業費 補助金

Q 事業対象者の要件および補助対象となる機械は

A 対象者の要件は、独立自営での就農時の年齢が50歳未満で、青年等就業計画の認定を受けており、京力農場プランで中心的な経営体に位置付けられている。または、それが事実と見込まれること。対象の機械は、耕作に使用するトラクターや畝(うね)成型機など。

本会議において付託された議案は、福祉健康委員会3件、市民文教委員会1件、産業建設委員会1件、総務消防委員会5件、予算決算委員会4件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告

漁業者原油価格・物価高騰緊急対策事業費

Q 燃油高騰支援について、補助金額(1トン当たり10円)の算出根拠は

A 漁船の主な燃料であるA重油および免税軽油について、令和3年1月と令和4年9月の燃料費を比較し、値上がり分の約半分を支援するもの。

スクールバス運行等業務委託経費(債務負担行為補正)

Q 教育委員会が所有しているスクールバスの台数と3千万円の内容は

A スクールバスについては、加佐中学校と由良川小学校へ通学する八雲・神崎地区の児童生徒の通学手段として2台所有している。また、3千万円の内容は、スクールバスの運行委託料であり、日常のスクールバスの運行と、車両の保管等を含めた3年間の総額として、3千万円の債務負担行為を設定するものである。

令和4年度一般会計補正予算(第7号)

子どもの安心・安全対策支援事業費補助金

Q 舞鶴市の保育所等におけるバスの保有台数は

A 私立認可保育所は、1園2台、私立認定こども園は、6園で10台保有している。

Q 今回の補助金において、幼稚園は対象外か

A 幼稚園は、京都府から直接支援されることとなっている。

Q 研修受講者の見込み数と経費の積算方法は

A 受講料(研修会負担金)は、現時点で未定であるが、一人当たり3千円と見込んだ上で、各園からは、施設長・運転手・同乗する



保育士の合計3人ずつ参加される予定として、私立認可保育所1園、私立認定こども園6園、私立幼稚園9園の合計16園、計48人分を見込んだ積算としている。

令和4年度一般会計補正予算(第8号)

出産・子育て応援事業費

Q 事業の開始時期はいつ頃か

A 可能な限り早く支給が開始できるよう準備を進めたいと考えており、年明け2月頃を目途としている。

Q 当面の間、現金の支給とするとあるが、いつまでか

A 現在、京都府とも協議をしながら、より効果的な給付方法について検討している。できるだけ早く支給するため、まずは現金支給により事業を開始し、協議がまとまった段階で切り替えたいと考えている。

Q 保健師や助産師等による面談などの機会を拡充するとあるが、本市の具体的な取り組み

み内容は

A 現在の舞鶴市の子育て支援サービスを国の実施要綱に当てはめ、足りない部分を整備・拡充したいと考えている。

常任委員会の主な審査内容

市民文教委員会

舞鶴市スポーツ施設整備基金の条例制定

特定防衛施設周辺整備調整交付金を本市が設置するスポーツ施設の整備に要する経費の財源に充てるため、舞鶴市スポーツ施設整備基金を設置するもの。

Q 基金の運用方法は

A その時々々の社会経済情勢に応じて、最も確実かつ有利な方法により管理するものとしており、基本的には金融機関への預金という形になるが、社会経済情勢を踏まえながら、今後もその手法について検討していきたい。

産業建設委員会

市道路線の認定、変更および廃止

田中町地区の路線の市道認定、下東地区ほか7地区の市道路線の変更および下東地区ほか2地区の市道路線の廃止を行うもの。

総務消防委員会

消防団条例の一部改正

現在の20消防団を「舞鶴市消防団」として改編し、団長等を中心とした団本部が組織全体をとりまとめ、従前の消防団は20分団とするほか、新たに「分団長」等の階級を置くとともに、各階級の業務負荷や職責を勘案した報酬額に改める等所要の改正を行うもの。

Q 1つの消防団と20の分団に組織を改編することのメリットは

A 1つの大きな消防団として運営することによる人員動員力の強化、指揮命令系統の一本化による災害対応能力の迅速化、将来を見据えた円滑で持続可能な組織運営の充実が期待される。

職員の定年等に関する条例等の一部改正

地方公務員法の改正に伴い、職員の定年を段階的に65歳まで引き上げるとともに、組織の新陳代謝を確保するための役職定年制や、高齢期における多様な働き方を支援するための定年前再任用短時間勤務制を定める等所要の改正を行うもの。

Q 役職定年制の特例として、60歳以降も引き続き管理監督職員として勤務できることになっているが、その適用については、誰がどのように判断するのか

A 組織として最も力を発揮できる人材配置となるよう、法律や条例の規定の趣旨も踏まえた上で、任命権者が判断していくことになると考える。

討 論

令和4年12月27日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

あじまし

委員会審査

討 論

採決結果

一般質問

臨時会のあじまし

決 議

「わがまち」の開催予定

議員の抱負

基本条例実行計画を策定

議会PR

特別委員会を設置

定例会の予定

編集後記

討論
市民理解の得られない議案は反対する

日本共産党議員団

12議案に賛成し、2議案に反対する。

国家公務員の給与改定に準じ、職員等の人件費の補正が含まれる第70号議案「令和4年度一般会計補正予算（第7号）」は、職員給与費は問題ないが、一般職と比べ、もともと高額な給与の市長・副市長・教育長の増額補正は、市民理解も得られないと考

える。また、第72号議案「市長及び副市長の給与に関する条例及び教育長



厳しさ続く市民生活

の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定」は、令和4年の人事院勧告に基づき、期末手当を0・05月分増額するものであるが、これも市民理解を得られないと考えることから、以上2議案には反対する。

第63号議案「スポーツ施設整備基金条例制定」は、特定防衛施設整備調整交付金5500万円を積み上げるもの。この交付金は幅広く活用できることから、コロナ禍と物価高騰のもとで市民の暮らしを支え、直接応援するために活用すべきと申し上げ、賛成する。

討論
支援拡充と将来を見据えた補正案を評価

新政クラブ議員団

全議案に賛成する。

令和4年度一般会計補正予算のうち、第6号は、物価高・原油高により肥料代や燃料代、資材代の高騰に苦しむ農業・漁業者に対して、市独自の支援で担い手を守ることに。また、スポーツ施設整備基金を設け、国の交付金の積み立てにより、市内各所のスポーツ施設機能強化の計画的な実施は、幅広い市民に恩恵があり、賛成する。

第7号補正は、送迎バスへの園児の置き去り



来夏までに送迎バスへ全車装着を目指す

を防ぐ対策機器の設置補助であり、スピード感ある取り組みを評価する。また、本市職員及び特別職の給与改定を行う条例制定については、人事院勧告に準じて行われるものであり、特別職についても同様とすることは、公平・公正な市政運営であり、賛成する。

第8号補正は、安心して出産・子育てができ、寄り添いながら必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」の充実と、給付金による「経済的支援」が実施され、本市ならではの子育て支援の展開に期待する。

討論
今やるべきはボーナスアップではない

市民クラブ舞鶴議員団

12議案に賛成し、2議案に反対する。

第70号議案は、人事院勧告に従い、国家公務員における取り扱いに準じ、職員・特別職・議員の期末手当を引き上げるための人件費の増額を含んだ補正予算。人事院勧告は、公務員の労働基本権制約の代償措置として行われるものであり、特別職・議員に適用されるべきではない。また、長引くコロナ禍や物価高騰で「生活が大変」という市民の声は、全議員が聞いている。さ

らに、市民からの



深刻な物価上昇

多くの要望にも、「予算がない」と実現されていない状況を議会で指摘してきている。財源を優先するべきはボーナスアップではなく、市民サービスの向上だ。特別職や議員が人事院勧告に従わなければならぬ根拠もなく、整理されたこともない。そのような中、市長をはじめ特別職や議員が「これまでからの慣例で」という理由で、世間がこのような状況下でボーナスをアップする予算は、到底、市民理解が得られないため、反対する。

令和4年12月27日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討論 政治家からの寄附禁止



あいまし

委員会審査

討論

採決結果

一般質問

臨時会のあいまし

決議

わかまちトーク
開催予定

議員の抱負

基本条例実行
計画を策定

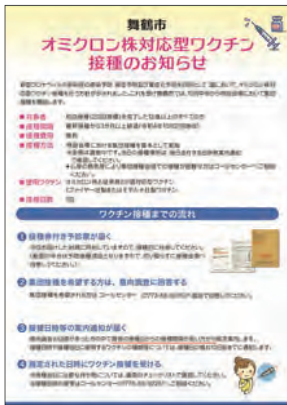
議会PR

特別委員会を
設置

定例会の予定

編集後記

また、口
である。
するもの
分の補助
益の減少
による収
入院制御
に対して、
民病院に
対して、



ワクチン接種呼びかけチラシ

全議案に賛成する。
令和4年度一般会計
補正予算(第6号)は、
ふるさと納税制度の利
用者が増加する中、増
額補正を行うもので、
新型コロナウイルス感
染症に対し、現在流行
の中心であるオミクロ
ン株対応ワクチン接種
が乳幼児、12歳以上を
対象とした接種事業費
であることや、舞鶴市
民病院に

シアのウクライナへの
侵攻により発生した世
界的な原油高騰や、L
NG天然ガス高騰、物
価高騰に対して農業
者、漁業者へ市独自の
5万円または10万円の
給付を行うものであ
り、賛成する。
令和4年度一般会計
補正予算(第7号)は、
静岡県内で発生した送
迎バスにおける未就学
児の置き去り事故を受
けて、国の緊急対策
「こどものバス送迎・
安全徹底プラン」に基
づく安全管理の徹底を
強力に推進するため、
保育園・こども園の送
迎バス12台に安全装
置の早期整備を行うも
のであり、賛成する。

討論

物価高騰等に対する 市独自支援策を評価

自民党鶴政クラブ議員団

は、71.6%とな
本市のマイナ
ン
バーカード申請率
を評価する。
積立金の財源確保
ふるさと応援基金
一般会計繰入れや、
整基金積立金の一
る。また、財政調
めの事業を評価す
る。また、財政調



京都の漁業を支える京都舞鶴港

全議案に賛成する。
長引くコロナ禍と物
価高騰の中、国による
雇用調整助成金とし
て、市内中小企業の事
業主負担の一部を市が
補填する事業や、資
材・燃料費用の高騰分
の負担軽減を図るた
め、経営が厳しい農業
者や漁業者を支援し、
安定した経営実現のた
めの事業を評価す
る。また、財政調

り、市民生活に利活用
できるカードとして、
交付率80%の目標に向
け、積極的な取り組み
を求める。
送迎バスの安全対策徹底を
送迎用バスの未就学
児の置き去り事故を受
け、国は、令和5年4
月から送迎バスにプ
ザーなどの安全装置の
設置を義務付ける。安
全装置は補助的なもの
で、マニュアルの徹
底、安全管理研修会の
開催など、ソフト面と
併せて、二度とこのよ
うな痛ましい事案が発
生しないよう、改めて
注意喚起の徹底を求
める。

討論

市民に寄り添った 事業の取り組みを

公明党議員団

政治家からの寄附禁止

**政治家の寄附は禁止！
有権者が政治家に寄附を求めることも禁止！**

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。

また、冠婚葬祭における贈答なども寄附になります。市民の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

※政治家本人が自ら出席する結婚披露宴における祝儀、葬式や通夜における香典については、罰則の対象から除かれています(通常一般の社交の程度を超えている場合は処罰されます。)



地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入



お祭りへの寄附・差入

例



町内会の集会・旅行等の催し物への寸志・飲食物の差入



お歳暮・お年賀・入学祝・卒業祝・病氣見舞

総務省のホームページに「選挙・政治資金」について掲載されており、このコードからご覧いただけます。



令和4年12月定例会での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



全会一致で可決したその他の議案

- 訴えの提起について（境界確定等請求事件）
- 指定管理者の指定について（舞鶴市南デイサービスセンター）
- 指定管理者の指定について（舞鶴市加佐デイサービスセンター）
- 指定管理者の指定について（舞鶴市中デイサービスセンター）
- 市道路線の認定、変更及び廃止について

全会一致で同意・可決した人事議案

- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 人権擁護委員候補者の推薦について

全会一致で可決した議会提出議案

- 原子力防災・安全等特別委員会の設置について
- 第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画に関する調査特別委員会の設置について

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択

【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	山本治兵衛	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	谷川眞司	水嶋一明	南正弘	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	鴨田秋津	西村正之	廣瀬昇	福本明日香	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	高橋秀策	仲井玲子	議決をした日
新政	新政	新政	新政	鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	公明	公明	公明	公明	市民	市民	市民	市民	共産	共産	共産	無党派	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	12月27日
○	○	○	○	○	*除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	12月5日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	12月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	12月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	12月27日

無党派…会派に所属しない議員 ☆舞鶴市議会の議員定数は25人です。

固定資産評価審査委員の選任

固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、令和4年12月27日の本会議で次の委員を選任することに同意しました。

再任：小谷 眞知子 氏

新任：阪本 清一郎 氏

※ 監査委員選任のために、除斥した。

議案の採決結果

(令和4年12月定例会) 会期:12月5日~27日

全会一致で可決、認定した予算・決算議案

- 令和4年度一般会計補正予算(第6号)
- 令和4年度一般会計補正予算(第8号)
- 令和4年度後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)

全会一致で可決した条例議案

- 消防団条例の一部を改正する条例制定について
- スポーツ施設整備基金条例制定について
- 舞鶴市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について



賛否が分かれた議案

議案名	議員名等(会派内は五十音順)	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	今西克己	鯛慶一
								新政	新政
市長提出議案	舞鶴市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例制定について	25	24	20	4	0	可	○	議長は採決に加わりません
	監査委員の選任について	24	23	20	3	0	同	○	
	令和4年度一般会計補正予算(第7号)	25	24	17	7	0	可	○	
	舞鶴市の市長及び副市長の給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	25	24	17	7	0	可	○	
議員提出議案	舞鶴市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	25	24	17	7	0	可	○	

【会派】新政…新政クラブ議員団、鶴政…自民党鶴政クラブ議員団、公明…公明党議員団、市民…市民クラブ舞鶴議員団、共産…日本共産党議員団、



令和4年12月14日、15日、16日に本会議を開き、21人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

令和4年 舞鶴市議会12月定例会一般質問

令和4年12月14日、15日、16日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一括	尾関 善之	1 多々見市長4期目出馬表明について	2 本市の雇用対策について
			3 西市街地浸水対策について	
2	一問一答	伊田 悦子	1 子ども・子育てにやさしい市政について	
3	一括	廣瀬 昇	1 本市の地域医療の実態について	
4	一括	上羽 和幸	1 出産・子育て応援交付金事業について	
5	一問一答	今西 克己	1 市政運営について	2 舞鶴市議会議員一般選挙公報について
6	一括	仲井 玲子	1 多胎児家庭支援について	2 保護動物避妊手術支援・行政登録について
			3 スポーツ施設器具撤去について	
7	一括	水嶋 一明	1 消防団の組織改編について	2 京都府中・北部地域消防指令センター共同運用について
			3 消防庁舎再編について	4 近年の救急出動の傾向について
8	一問一答	小杉 悦子	1 新型コロナウイルス感染症の影響での国保・介護保険料の減免制度の拡充について	2 介護保険事業について
			3 新型コロナウイルス感染症感染防止対策について	
9	一括	鴨田 秋津	1 質の高いスポーツ環境と施設の充実について	2 景観行政について
10	一括	小谷 繁雄	1 西市街地の総合的な治水対策について	2 学校の洋式トイレの設置について
			3 重層的支援体制整備事業について	
11	一問一答	野瀬 貴則	1 舞鶴市議会議員選挙の投票結果について	2 これからのGIGAスクールについて
12	一括	高橋 秀策	1 教育について	2 赤れんが周辺等まちづくりについて
			3 道路整備について	
13	一括	谷川 眞司	1 通学路における橋梁の安全対策について	
14	2分割	小西 洋一	1 学校教育の充実について	2 本市農業の将来像について
			3 FMまいづる「中継局問題」について	4 平和なまちづくりについて
			5 本市医療の現状について	
15	一括	西村 正之	1 企業誘致について	
16	一括	松田 弘幸	1 防災訓練について	
17	一問一答	田畑 篤子	1 舞鶴市民病院の医療安全管理体制について	2 障害者支援について
			3 子育て支援について	
18	一括	福本明日香	1 障害者福祉の課題について	2 子育て支援について
19	一括	杉島 久敏	1 中学校における部活動について	2 学校等におけるてんかん発作時の口腔用液（ブコラム）の投与について
20	一問一答	眞下 隆史	1 地方自治体が担うごみ行政について	2 地域・学校が育てる地域学について
21	一問一答	山本治兵衛	1 地域通貨を導入することの検証について	2 運動施設について
			3 中学校のクラブ活動について	

- ※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
- ※2 分 割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
- ※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

舞鶴市議会 検索



※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。
※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

あし

委員会審査

討論

採決結果

一般質問

臨時会のあし

決議

「わかまち」の開催予定

議員の抱負

基本条例実行計画を策定

議会PR

特別委員会を設

定例会の予定

編集後記

令和4年12月14日、15日、16日に本会議を開き、21人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

あらまし

委員会審査

討論

採決結果

一般質問

臨時会のあらまし

決議

「わかちあいの」開催予定

議員の抱負

基本条例実行計画を策定

議会PR

特別委員会を
設置

定例会の予定

編集後記



電源建屋工事が進む
大手ポンプ場

質問 大手ポンプ場の排水エリアとなっていて、今年も高潮による通行止め規制をたびたび実施された。大手ポンプ場の設置により、通行止め規制路線解消のため、高潮対策としても運転を可能とされるのか、その見解を問う。

答弁 気象予報などで、舞鶴市に大雨や高潮が予測された場合に、ポンプ場の運転準備を開始し、ポンプ場内の水位が一定の基準に達


した場合は、ポンプを運転させる計画としており、高潮に対しても効果があるものと考えている。

質問 既に事業化されている総合モニタリング情報配信システムによる水位情報配信と連携し、地域の安全・安心につながる情報として、河川水位、降雨量等を総合し、運転状況に反映していただきたいが、その考えは。

答弁 総合モニタリングシステムで得られる流域の水位情報などは、ポンプの運転に重要な情報と考えており、運転管理に積極的に活用していく。

Q 高潮対策としての大手ポンプ場の運用は、運転させる計画で高潮にも効果があるか。

A 高潮にも効果がある。




自民党鶴岡クラブ議員団
尾関 善之

Q 子育て世代の負担軽減策は、経済的負担軽減にとどまらない支援はありますか。

A ①本市では20年余り取り組まれてきたが、府内で最低レベルの子どもの医療費無料化への見解は。②学校給食の無償化は、子どもが健やかに生き成長する権利保障となる。全国的に広がる学校給食無償化は、自治体の裁量で実施可能では。

答弁 ①経済的負担軽減にとどまらず、総合的な子育て支援に取り組む。②学校給食法では、各自治体の判断で保護者負担軽減を目的に支援等を行うこと



日本共産党議員団
伊田 悦子



子ども・子育てにやさしい市政

質問 ①本市では20年余り取り組まれてきたが、府内で最低レベルの子どもの医療費無料化への見解は。②学校給食の無償化は、子どもが健やかに生き成長する権利保障となる。全国的に広がる学校給食無償化は、自治体の裁量で実施可能では。

答弁 ①経済的負担軽減にとどまらず、総合的な子育て支援に取り組む。②学校給食法では、各自治体の判断で保護者負担軽減を目的に支援等を行うこと

を妨げるものではないと、理解している。


Q 公的保育の担うべき役割は、協定書で市の関与を明確に

質問 新たな「公私連携幼保連携型認定こども園」の新設で公立中保育所がなくなる。今後、協定書が策定されるが、市の関与と保育水準の確保が重要である。何を基準に協定書を策定するのか。公立保育園の担うべき役割は考慮されているか。

答弁 社会的サポートの必要な児童への適切な保育の実施など、公立保育所が持つセーフティネット機能の役割が、しっかりと引き継がれることを明示した連携協定にしている。

Q 地域医療の実態についての認識を問う。府北部地域全体で医療確保に取り組む

A 府北部地域全体で医療確保に取り組む



市民クラブ舞鶴議員団
廣瀬 昇

質問 本市の地域医療の実態として、ほとんど連携できていない公的4病院を「深化」させるには、どのような方策を用いるのか。また、市民からは、舞鶴で医療を完結させてほしいとの要望があるが、市の見解を問う。

答弁 公的3病院間で「患者情報共有システム」が導入され、連携の整備が進められている。また、医師不足により、市内の医療機関で全ての診療科をそろえることは困難である。緊急対応の低い高度専門医療は、府北部地域全体で取り組む。



地域の医療を支える

つながる。また、救急医療を維持するには、救急対応可能な医師を一定数確保する必要がある。救急医療体制の確保・強化について市の見解を問う。

答弁 医師確保は病院の責務である。救急医療は、脳疾患、心疾患、周産期でほぼ全ての患者に対応できている。救急搬送の市内収容率も高く、救急医療体制は一定確保されていると認識している。

一般質問

令和4年12月14日、15日、16日に本会議を開き、21人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



あらまし

委員会審査

討論

採決結果

一般質問

臨時会のあらまし

決議

「わがまちトピック」
開催予定

議員の抱負

基本条例実行
計画を策定

議会PR

特別委員会を
設置

定例会の予定

編集後記

Q 伴走型相談支援で子育て環境の充実を

A 的確な支援に努める



公明党議員団
上羽 和 幸

質問 国は妊娠・出産時に計10万円相当の給付による経済的支援と、妊娠期から出産・産後、育児期まで全ての妊婦や子育て家庭に寄り添う伴走型相談支援を一体的に実施するための「出産・子育て応援交付金」を創設した。市の今後の取り組みを問う。

答弁 この制度を活用し、全ての妊婦や子育てが安心して、出産や子育てができるよう、ニーズに対応した的確な支援ができる体制づくりに努めたい。

質問 国は妊娠・出産時に計10万円相当の給付による経済的支援と、妊娠期から出産・産後、育児期まで全ての妊婦や子育て家庭に寄り添う伴走型相談支援を一体的に実施するための「出産・子育て応援交付金」を創設した。市の今後の取り組みを問う。

Q 給付は応援を届ける形態で

A 効果的方法を検討

質問 経済的支援の給付は、伴走型相談支



妊娠・出産・子育て家族の応援

Q 市議選の選挙公報掲載内容の事実を問う

A 選挙公報の記載内容は事実ではない



新政クラブ議員団
今西 克己

質問 今回の市議選に係る選挙公報に、候補者が掲載した舞鶴市の医療に関する内容の公報があった。その内容は、「医師不足の為に救急車から病院の受け入れ先が見つからず、手遅れになり亡くなられたケースもありました。救急車を呼んだら高速に乗って綾部、福知山へ30分、40分：手遅れでした。舞鶴だから助かりませんでした。」という内容が選挙公報に掲載されていた。令和3年、令和4年において、このような事実が本市において本当にあったのかを問う。

答弁 令和3年の救急搬送人員のうち市外搬送は80人で、割合は2・4%。令和4年1月から10月末は112人で、割合は3・6%。市外搬送の多くは、医師または看護師が救急車に同乗の上、病状管理をしながらの転院搬送であり、現場から直接市外の医療機関へ搬送した事例を併せても、中丹医療圏に搬送したうち、過去2年間で手遅れになり死亡と診断された事例は存在しない。記載内容は事実ではない。



即応体制の救急車

Q 多胎児家庭への支援は活用されているか

A さらなる充実に向け、取り組んでいく



会派に所属しない議員
仲井 玲子

質問 過酷な育児となりがちな多胎児家庭を支える育児支援について、支援の必要なご家庭に十分に活用されているか。また、一度にかかる経済的負担も大きく、子どもの進路も狭まってしまっているのではないかと危惧する声もあるが、経済的負担に対する支援について、市の見解を問う。

答弁 妊娠期から不安が多くなりがちな多胎児家庭に対して、ご家庭に応じた支援に取り組んでおり、一定の利用をいただいている。

質問 飼い主のいない猫の問題を殺処分ではなく、不妊手術によって解決しようとする行政やボランティアを支援する事業「さくらねこ無料不妊手術事業」に、現在24%の自治体が登録されているが、本市の登録への見解は。

答弁 現在、府内での事業に協力している病院は京都市内で1院のみで、個人からの相談の際には、情報提供に努めていく。



社会で支える多胎児家庭

割合は2・4%。令和

この事業に協力している病院は京都市内で1院のみで、個人からの相談の際には、情報提供に努めていく。

令和4年12月14日、15日、16日に本会議を開き、21人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

あらまし

委員会審査

討論

採決結果

一般質問

臨時会のあらまし

決議

「わかまち」の開催予定

議員の抱負

基本条例実行計画を策定

議会PR

特別委員会を設置

定例会の予定

編集後記



答弁 本年度事業のうち、西消防署整備に伴う再生可能エネルギー利用実現可




新西消防署建設予定地

質問 これまでに、老朽化した西消防署を新たに法務局隣の国有地に移転、令和7年度までに建て替えをし、庁舎再編を行う予定であると伺っている。適宜、進捗状況の報告を受けているが、計画どおり令和7年度完成予定であれば、建設工事期間を含め、計画とスケジュールはほぼ固まっていると思われる。そこで、新たに建設される西消防署の庁舎は、防災拠点としてのどのようなコンセプトとスケジュールで進められているのか、経過も含め、市の見解を問う。

能性調査と基本設計が完了している。また、庁舎移転場所の確保は、旧軍港市国有財産処理審議会で、消防署および消防訓練場敷地として譲与することが10月3日に承認された。現在、あらゆる災害に対応可能な防災拠点、人にも環境にもやさしい庁舎づくりを基本に、来年度から工事を進め、令和7年度の竣工を目指す。

Q 新西消防署の進捗状況と竣工の見通しは

A 2カ年計画で、令和7年度竣工を目指す



自民党鶴岡クラブ議員団
水嶋 一明




安心できる介護保険制度に

質問 新型コロナウイルス感染症の拡大により、国保・介護の保険料負担が困難な方に、国が新たに減免制度を設けた。①減免の効果は。②新型コロナウイルス感染症拡大に加え、物価高騰の影響は長期的に続いているため、減免制度の充実について市の考えを問う。

答弁 ①さまざま事情を抱えている方の負担軽減につながる。②減免を必要とする方が適切に対象となるよう、基準の見直しや、

Q 国保・介護保険料減免の拡充を望む基準の見直しなど、国に要望

A 国保分については、傷病手当の全額補助の継続、支給対象の拡大を国に要望している。



日本共産党議員団
小杉 悦子

質問 厚労省は介護保険の改正を議論している。「介護事業所の経営悪化」「利用控え」「重度化を招く」など、強い反対意見がある。介護サービス構築に尽力されてきた本市は、反対の声を上げるべきと考えるが、いかがか。

答弁 来年度に第9期高齢者保健福祉計画を策定する予定であり、改正の内容は、計画に反映させる必要があることから、引き続き国の動向を注視していく。




ナイター設備が望まれる人工芝グラウンド

質問 中学校の部活動改革を進めるに当たり、前回の質問時に、部活動と地域スポーツとが密に協力できる体制を構築する必要性と、実効性ある市役所組織の設置が必須であると指摘した。これらの提案を踏まえ、来年度からの部活動改革をどのように進めていくか。

答弁 来年度は市の関係課と連携のもと、スポーツ団体、学校関係団体や専門家等からなる協議会を設置し、本市の実情にあった地域移行の議論を深める。

Q 中学校部活動の改革今後の進め方は

A 関係者の協議体を設置し、周知に努める



市民クラブ舞鶴議員団
嶋田 秋津

質問 世界的人気が高いサッカー。本市には伊佐津川運動公園に人工芝グラウンドが整備されているが、ナイター設備がない点が課題である。関係者からは、設備導入の要望を多数いただいているが、市の考えを問う。

答弁 ナイターの設置等には多額の費用を要するため、既にナイター設備があるスポーツ施設の利用状況やニーズ、コスト等を踏まえ、ナイター施設全体の在り方を検討する。

質問 世界的人気が高いサッカー。本市には伊佐津川運動公園に人工芝グラウンドが整備されているが、ナイター設備がない点が課題である。関係者からは、設備導入の要望を多数いただいているが、市の考えを問う。

答弁 ナイターの設置等には多額の費用を要するため、既にナイター設備があるスポーツ施設の利用状況やニーズ、コスト等を踏まえ、ナイター施設全体の在り方を検討する。

一般質問

令和4年12月14日、15日、16日に本会議を開き、21人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



工事準備中の静浜ポンプ場建設現場

質問 高野川の浸水対策となる静浜ポンプ場の土木工事進捗状況と、高潮時において周辺地域で道路冠水が発生した場合、排水ポンプの運転が有用と考えるが、市の見解を問う。

答弁 河床から想定外のコンクリート構造物が確認されたが、1月中旬からの工事着手に向け準備を進めている。また、気象予報などで大雨や高潮が予想され、一定基準に達した場合の排水ポンプの運転は、高潮時にも効果があるものと考ええる。

Q 静浜ポンプ場の工事進捗と運用方法は1月中旬から工事を進め高潮時にも対応



公明党議員団 小谷 繁雄

Q 断らない相談窓口の充実
A 関係機関と連携し整備

質問 介護、障害、子育てなど、縦割りの制度では、対応が難しい複合的な課題に対し、一人一人の状況を相談により把握し、必要な支援につなぐ「断らない相談窓口」の施策を推進するため、国は、重層的支援体制整備事業を創設した。本市の取り組みを問う。

答弁 複合・複雑化した支援ニーズに対応するため、各分野の支援へつなぐコーディネート機能を確立し、地域福祉の中核となる社会福祉協議会や各関係機関と協議を進める。

Q 投票率向上に資する取り組み拡充を
A 課題が多いが積極的に取り組む



新政クラブ議員団 野瀬 貴則

質問 直近の市議選では、投票率が50・1%と過去最低となった。投票率向上に向け、投票所へ行くのが困難な方に対して、現状の制度では、郵便等による不在者投票の対象とならない方が多い。タクシー等による移動支援が必要では。

答弁 投票機会の確保に資するものであるが、経費や人員の確保に課題がある。有権者の投票の機会の確保に努める。

Q 立会人と投票時間の今後は
A ご意見を伺い検討していく

質問 各投票所における投票立会人等の選任を自治会に依頼ではなく、公募により希望

5市2町における一番早い投票終了時間

午後6時まで	伊根町、福知山市、京丹後市、与謝野町、宮津市
午後7時まで	綾部市
午後8時まで	舞鶴市

投票環境も時代に合わせ変化していく

答弁 立会人等の選任を自治会のご協力により確保していることから、各自治会のご意見を伺う中で、公募等について検討を行う。投票時間の繰り上げは、投票所での夜間の投票者が5人以下であった。京都府選挙管理委員会とも相談しながら検討を行う。

Q 全国学力・学習状況調査の成果は
A 学力向上につなげている



会派に所属しない議員 高橋 秀策

質問 本市の子どもたちには「舞鶴市教育振興大綱」にあるように、ふるさと舞鶴を愛し夢に向かって将来を切り拓いてもらいたい。全国学力・学習状況調査が令和4年春に実施され、教育施策の成果や課題を検証すると伺っているが、改めて以下のことについて市の見解を問う。①全国学力・学習状況調査の目的と内容は。②本市の子どもたちの学力や学習状況の分析と課題は。③課題を踏まえた学力向上の取り組みは。

答弁 ①全国的な学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る。②正答率は、



ICT機器の活用は、全国の3倍

小学校6年で国語と算数が全国平均、理科は上回っている。中学校3年は国語が全国平均、数学と理科は下回っている。授業でのICT機器の活用は全国と比べ利用率が高く、中学校では全国平均の約3倍である。③教員の意識を変える授業改善、時代に求められる資質能力や学力を身に付けることができる児童生徒を育成する。

令和4年12月14日、15日、16日に本会議を開き、21人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

あいまし

委員会審査

討論

採決結果

一般質問

臨時会のあいまし

決議

「わかちあ」の開催予定

議員の抱負

基本条例実行計画を策定

議会PR

特別委員会を設置

定例会の予定

編集後記



答弁 浪速橋の車道橋の拡幅について市の見解を問う。が必要と考えるが、

質問 八島通りに架かる浪速橋は、東舞鶴高等学校や白糸中学校の通学路になっており、車の交通量も多く、橋上で車の接触事故も発生している。この対策として、橋梁幅員を拡幅するとともに、歩行者が安全に通行できる対策が必要と考える。また、松島橋北側の府道舞鶴野原港高浜線の通学路には歩道がない所もあり、とても危険な状態である。松島橋南側も市道潮路通線との交差点の歩道部分は、狭く急勾配でもあり、車椅子の通行にも支障をきたしている。安全対策が必要と考えるが、市の見解を問う。



安全対策が必要な松島橋周辺歩道

は、架け替えが必要なのは、架け替えが可能な状態になれば、幅員の見直しを含め、更新を検討する。松島橋周辺の安全対策において、通学路の交通安全対策については、京都府が歩道設置の検討をされており、交差する市道についても安全対策を早期に進める。松島橋南側の歩道は、現地調査や測量設計等、その解消に向け、検討を進める。

Q 八島通り浪速橋の安全対策を
A 架け替え時に幅員も含め検討する



自民党鶴岡クラブ議員団 谷川 眞司

Q 本市の鳥獣被害対策の方針について
A 「捕獲」と「防除」両輪で取り組む



日本共産党議員団 小西 洋一



安心・安全な農業を

質問 「昔は檻の中に入れていたのは動物だったけど、今は檻の中に入っているのは人間になった。深刻な鳥獣被害を何とかしてほしい」と、農業委員から話を聞いた。通学路や民家の軒先までクマが侵入している。本市の鳥獣被害と捕獲頭数の状況、今後の鳥獣被害対策の方針は。

答弁 令和3年の被害額は1209万円。令和4年4月から10月までの捕獲頭数はシカ、イノシシなど計254頭。市の鳥獣被害対策は、捕獲と防除の両輪で取り組む。市外から医療問題の声を多く聞いた。「診療科が減り、福知山や綾部の病院まで行かなくてはならない」市外の病院まで行けば、交通費が1万円にもなる」等々。この4年間の変化を問う。

Q 4年間の医療環境の変化は
A 診療体制は維持されている

7頭を捕獲している。市内の3支部猟友会や地域との連携で「捕獲」と「防除」の両輪で取り組んでいく。

質問 先の市議選で市民から医療問題の声を多く聞いた。「診療科が減り、福知山や綾部の病院まで行かなくてはならない」市外の病院まで行けば、交通費が1万円にもなる」等々。この4年間の変化を問う。

答弁 公的4病院の常勤医は、平成30年比で計5人減少しているが、非常勤医師の確保や病院間連携により、診療体制は維持されていると認識している。

Q 大和紡績跡地の誘致活動の状況は
A 今後も積極的な誘致活動を展開していく



市民クラブ舞鶴議員団 西村 正之

質問 大和紡績跡地については、平地の成り地で豊富な水が利用できるという有利な条件を持った土地であると認識しているが、このような優位性を効果的に企業に発信し、実際の誘致につなげていくためには、ターゲットを絞った戦略的な誘致活動が必要と考える。そこで、大和紡績跡地については、用地の約2分の1を商業施設として活用されているが、残り約1万5千坪の用地に対する市の現在の誘致活動の状況について尋ねる。



今後の有効活用が期待される大和紡績跡地

跡地の北側約5.4ヘクタールの用地については、本市が持つ企業誘致における優位性に加え、豊富な地下水が取水できる用地であること、住宅地が近く労働力が確保しやすい環境であることなど、その強みや特色を前面に出してPRすることにより、これまでに複数の企業が現地視察に来られるなど、新規立地に向けた誘致活動を展開している。今後も、引き続き積極的な誘致活動を展開してまいりたい。

一般質問

令和4年12月14日、15日、16日に本会議を開き、21人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



あらまし

委員会審査

討論

採決結果

一般質問

臨時会のあらまし

決議

「わがまちトピック」
開催予定

議員の抱負

基本条例実行
計画を策定

議会PR

特別委員会を
設置

定例会の予定

編集後記

一般質問

Q 防災訓練にフェーズフリーの活用を

A さまざまな場面で周知、啓発に努める



公明党議員団
松田弘幸

質問 日本では毎年のようにさまざまな災害が発生し、被害が繰り返されている。災害時に身の回りで発生する事象はイメージしづらく想像に基づいて備える防災では限界がある。そこで生まれたのが「フェーズフリー」という防災に関わる新たな概念である。平常時と災害時の両方で差がなく利用でき、日常の価値と非常時の価値の両方を同時に高めるというものである。防災訓練に生かし、市民に周知することが大切であるが、市の考えは。

答弁 普段使うものを非常時に役立てる意識を持つことで、無理なく実践できる災害への備えとして有効と考える。日頃から利用する缶詰やレトルト食品等を多めに買って置き、使った分だけ買い足す「ローリングストック」は、代表例として出前講座で周知に努めている。危険個所の把握、避難場所や避難ルートの確認等、自助・共助の取り組みと併せて出前講座や防災訓練等、さまざまな場面を通じ周知、啓発に努める。



三浜地区の避難訓練状況

Q 障害者日常生活用具助成金支援見直しは

A 活用しやすい事業になるように見直す



新政クラブ議員団
田畑篤子

質問 「在宅入浴用リフト」の助成金支援について、この補助用具は、部屋から浴室までの移送ができる。介護費用との比較はできないが、社会や人の暮らし、障害の変化に応じた効果的な障害者日常生活介護用具として、種別と補助金の上限額の見直しは、必要ではないか。長期的な視点での介護用品の選択とその支援について問う。

答弁 機能の改良などにより、用具の実勢価格と乖離があること

質問 障害児(者)支援法は、暮らしやすくするための助成である。しかし、障害児・障害者の利用・活用対象基準は、社会変化や現代の人の成長に応じた内容に変更されていない。現状にあった改正について見解を問う。

答弁 今後、随時見直しを行い、身長・体重などの体格等も考慮し、合理的で適正な給付に努める。

質問 学校給食の無償化の考えは

答弁 保護者負担が市の基本姿勢



障害者日常生活用具

Q 市独自の障害者支援策を

A 一定の生活支援があり考えていない



市民クラブ舞鶴議員団
福本明日香

質問 コロナ禍での支援策がある中「障害者にも光を当てた支援の充実を」との声が多くある。移動手段が限られる障害者への支援策として、市独自の交通券や商品券の支給について市の考えを問う。

答弁 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の支援策は、障害の有無に関わらず市が窓口となり実施してきた。障害のある方には、福祉サービスや年金、手帳の割引制度など、一定の生活支援が講じられており、市独自の支援策は考えていない。

質問 ①子どもの貧困や環境に左右されない社会をつくる上で学校給食の無償化は、有効な施策と考えるが、いかがか。②中学校給食のアンケート結果が、平成27年以降ホームページに掲載されない理由は。③学校給食の高い残食率について問う。

答弁 ①受益者負担等により、保護者にも費用負担をお願いする。②安定した給食の実施により掲載していない。③小学校での調査はなく、中学校ではここ数年横ばいで20%である。



笑顔あふれる学校給食

質問 ①子どもの貧

令和4年12月14日、15日、16日に本会議を開き、21人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

Q てんかん発作発症の
児童生徒への対応は
薬の使用法・研修が
必要と認識している



Q 地域学を生かし
地元を愛する教育へ
地域づくりを展開



Q 地域経済の活性化に
地域通貨の導入を
生み出す今後の課題



質問 てんかんの児童生徒が、学校内で実際にてんかん発作を起こした場合は、30分以内に発作を抑える治療等を講じなければ、脳に重い障害を残す可能性があるとされている。文科省では、学校などで児童生徒がてんかん発作を起こした場合、教職員らが迅速に治療薬「プロコム口腔用液」を投与できることを関係者に知らせる、事務連絡を發出し、周

知を呼び掛けている。学校側への伝達、教職員への研修機会はどのように実施されたのか。
答弁 全小中学校の約半数の学校にてんかん疾病を有する児童生徒が在籍しているが、保護者からプロコム使用の依頼を受けていないことを確認している。てんかん発作発生の危険性についても併せて把握している。国から發出された事務連絡は、各小中学校長あてに通

知を出し周知を行っている。教職員に対するプロコム投与に係る研修を実施している学校はないが、具体的な使用方法等の研修が必要と認識している。
質問 児童生徒に対し地域学を使って地元を知ることは、ふるさと舞鶴に愛着を持つことにつながる。大浦小学校では授業の一環でタブレットを活用して、地元PRポスターを作成し一人一人が参観日で発表した。まさに地域学であり感心するが、今後はさらに地元の大人が関わる必要があり、人材確保に向け地域づくり支援課と教育委員会が強固な連携・

役割分担で地域学の推進に取り組むべきと考えるが、市の見解を問う。
答弁 大浦小学校では、総合的な学習の時間を「大浦未来学」と名付け、地域の方々と連携し、課題解決型学習を積極的に進めている。地域学の推進は、地域と学校が連携することで、子どもと大人がともに学び合い地域の誇りと愛着を醸成し、人材の発掘と担い手の育成につながる。地域と学校が連携した地域学は、まさに地域づくりにつながるものであり、大浦地域での活動を市内地域へと広げていけるよう進めていく。

質問 地域経済を浮揚させるには、財源を確保し地域に循環させることや、市税収入の一部を市民へ再分配させることが有効な財政施策であると考えられる。また、個別に行ってきたプレミアム商品券事業や冬グルメクーポンなどは経済施策として大きな効果があったものの、事業ごとで発券の経費も必要となり、地域循環型の共通プ

ラットフォームを構築することが必要である。今後も経済対策は行われていくことも想定されることから、多くの自治体でも取り組まれている地域通貨を舞鶴市で導入してはどうか。
答弁 地域内での資金循環と地域外から資金を獲得して舞鶴市内の地域経済を拡大することは重要である。今後もさまざまな財源を確保して地域経済の好循環を生み出すよう努めたい。一方で、地域通貨の導入については、利用店舗が求める期待感や潜在的ニーズ、地域経済への貢献度をよく把握することが必要であるため、今後の課題としていく。



プロコムの使用方法
①よだれや嘔吐がある場合は拭き取り、子どもの頬をつまみ広げる
②下の歯ぐきと頬の間にゆっくりと全量を注入する
※医師の指示がある場合は、両側の頬に半量ずつ投与する

プロコム口腔溶液の使用法
職員に対するプロコム投与に係る研修を実施している学校はないが、具体的な使用方法等の研修が必要と認識している。



地元を紹介した大浦小児童作成のPRポスター



プレミアム商品券を地域通貨で

あいまし
委員会審査
討論
採決結果
一般質問
臨時会のあいまし
決議
「わがまち」コーナー
開催予定
議員の抱負
基本条例実行
計画を策定
議会PR
特別委員会を
設置
定例会の予定
編集後記

令和5年 第1回臨時会のあらまし

●令和5年第1回臨時会を1月16日(月)に開催しました。

上羽和幸議員を議長に選出しました。

議会提案の「議会の信頼回復に関する決議」について、討論を行い、採決の結果、全会一致で可決しました。

令和5年1月6日、本市議会の議長が、不祥事の実態を市民にも議会にも報告せず、虚偽の説明を繰り返し、議員を辞職する事態となりました。

これはまさに人としての倫理・道徳に反する行為であり、市民の皆さまの負託に応えるべき議会への信頼を、大きく失墜させた結果となりましたことに対しまして、市民の皆さまに心からお詫び申し上げます。

本市議会といたしましては、今回の件を一個人としての問題ではなく、議会全体の姿勢が問われていることとして、重く受け止め、議員一人ひとりが襟を正し、真に市民の負託に応えられますよう努めますとともに、議会一丸となって皆さまの信頼を回復できますよう全力を尽くして活動してまいります。



舞鶴市議会

決 議

第1回臨時会において
議会運営委員会で発議し、
可決した決議は次のとおりです。

▽議会の信頼回復に関する決議

議員は、市民の負託により市政に係る職責を有し、その負託に応えるため、政治倫理の向上と確立に努めていく必要があります。そのためには、人としての倫理・道徳が求められることを深く認識しなければなりません。しかし、このたび、現職議長が罰金30万円の略式命令を受ける不祥事が判明し、この事実を市民にも議会にも報告せず虚偽の説明を繰り返し、これにより議員辞職することとなりました。

本市議会は、「舞鶴市議会基本条例」にある「市民の代表として、常に良心と責任感をもって品位の保持に努めること」の条



決議の提案説明をする今西議会運営委員長

文のつとり、この事例を一個人の不祥事としてとどめることなく、我々議員の一人ひとりが襟を正す事例として真摯に受け止め、議会政治の原点を再確認し、真に市民の負託に応えられる議会活動を誓うものであります。今後、本市議会は、自らが市民の負託を受けた議員であるという地方自治の本旨に返って、法令を遵守し、市議会に対する市民の信頼を回復するために全力を尽くすものであります。

以上、決議する。

令和5年1月16日の臨時会を開催し、提案された決議に対して討論をしました。

討 論

討論

議会の透明性を示し、信頼回復に努める

会派に所属しない議員

決議第1号に賛成する。

このたびの現職舞鶴市議会議長の議員辞職に関し、結果として最悪の形で世間に広まったことは大変残念である。議会において、議長の選出には全議員が責任を負わねばならない。前議長には、市民の間でいくつかの疑惑があった。議長選出の際には、市民感情を考慮された議員が他の議員に説明をし、また、雑誌社により多くの市民に前議長の疑惑に係る記事がばらまかれたことから、前議長に対して事実を明らかにす

討論

市民の皆さんに開かれた議会を目指して

会派に所属しない議員

決議第1号に賛成する。

今回の不祥事に関して、市民の皆さまに心からお詫び申し上げます。市民に開かれた議会を目指し議会改革を進め「舞鶴市議会基本条例」を策定した。その根底にあるのは、「市民に開かれた議会」「議会機能の充実」「効率的・効果的な議会運営」である。議員の活動原則には「市民の代表として、常に良心と責任感をもって品位の保持に努めること」など市民の信頼・負託に応えるよう定めており、その考えに沿って

討論

選出会派の責任は重大 猛省求め賛成

日本共産党議員団

決議第1号に賛成する。

「児童ポルノ所持罰金、舞鶴市議長公表せず」の新聞報道があり、鯛慶一氏は事実を認め、辞職した。辞職は当然。鯛慶一議員については、これまでからいくつかのわいせつ疑惑が指摘されてきた。党議員団は、二次被害に対する配慮から慎重な対応をしてきた。令和元年の副議長選の時も、この件は、選出会派からも、本人からも明らかにされなかった。よって、党議員団は「議長にふさわしくな



るよう申し入れをされたが、非公開の場での話し合いとなった。前議長の言葉を信じるにせよ、信じないにせよ、きちんと市民に説明することなく、事を収めようとしたことで、返って事を大きくしてしまった。議会内の決定について、しっかりととした話し合いが必要であったことを反省し、開かれた議会、議会の透明性を市民に示し、市議会に対する信頼回復に全力を尽くすことに賛成する。



進めてきたが、今回の議員辞職は大変残念である。議会と執行機関とは車の両輪とよく言われる。執行機関は市民生活に関わる政策等を提案し、それを議決機関である議会が審議をする。「議会の役目」「議員の役目」をしっかりと自覚し、市勢発展、市民福祉の向上にしっかりと取り組むことが、市民の皆さんの信頼回復につながることであり、申し上げます、賛成討論とする。



い」との理由で反対した。疑惑が払拭されないまま、鯛慶一議員を議長に選出した新政クラブ議員団と、先の市議選で公認した自民党舞鶴支部の責任も重大であり、それぞれに猛省を求め、市民に対して公式な見解表明を求める。日本共産党は、女性はもちろん、男性や子どもも含め、性を商品化することは、全ての人への人権じゅうりんと考える。議員団としても、失われた市議会の信頼回復に全力を挙げる決意を述べ、賛成する。

あいまし

委員会審査

討論

採決結果

一般質問

臨時会のあいまし

決議

わかちあわせ
開催予定

議員の抱負

基本条例実行
計画を策定

議会PR

特別委員会を
設置

定例会の予定

編集後記

討 論

令和5年1月16日の臨時会を開催し、提案された決議に対して討論をしました。

討論

決議第1号に賛成の立場で討論する

公明党議員団

決議第1号に賛成する。「議会の信頼回復に関する決議」は、現職議長が罰金30万円の略式命令を受けるといった不祥事を起こしていたことが判明し、その事実を市民、議会にも報告せず、虚偽の説明を繰り返したことから、議員辞職するに至ったことを受けたものである。市民の皆さま、舞鶴市職員、議会事務局に大変なご迷惑とご心配をかけたことへの謝罪と、信頼回復に全力を尽くすことを誓うものである。改めて、市民の皆さま



ま、舞鶴市職員、議会事務局、多くの皆さまに深く、お詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。公明党議員団としても、一個人の不祥事として扱うのではなく、襟を正し、常に良心と責任感をもって品位の保持に努めるとともに、どこまでも市民の皆さまを中心に、皆さまのお声を大切にお聞きしながら市政に反映し、信頼回復に全力を尽くすことをお誓い申し上げます。賛成討論とする。

討論

信頼を失墜させ心からお詫びをする

新政クラブ議員団

決議第1号に賛成する。今回、舞鶴市議会議長が議員辞職を伴う不祥事を引き起こし、市民の皆さま、市行政の皆さま、舞鶴市議会および議員の皆さまに多大なるご迷惑と信頼を失墜させ、心から深くお詫びを申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。我が会派は、議会と議員の必要性を正しく理解していただくため、「市民に開かれた議会」を目標に透明性がある議会を目指し、活動していく決意で取り組んでいますが、その前提であ



る「市民の皆さまにとって模範となる高い倫理的義務」を犯す不祥事が起き、大変申し訳なく思っています。決議の内容を深く心に刻み、今後の議会・議員活動に取り組むことをお約束するとともに、「議会機能の充実」「効率的・効果的な議会運営」に関して歩みを止めることなく、さらなる向上を市民の皆さまに見ていただく中で、舞鶴市議会の信頼回復に向け全力で努めることをお誓いし、決議に賛成する。

討論

公式表明はないが、決議には賛成する

市民クラブ舞鶴議員団

決議第1号に賛成する。私たち、新人議員としましても1カ月ほどの出来事であり、子を持つ親としても非常に衝撃的であり、残念である。同時に議会を代表する議長の立場での不祥事であったため、議会一体として、信頼回復に向けたより一層の取り組みは、必要不可欠であると考えます。市民クラブ舞鶴議員団としても、今回の不祥事を重く受け止め、信頼回復に努めること。また、議会としても真摯に受け止め、今後の在り方を示していく上



でも、本決議は重要であることから賛成する。しかしながら、市民の皆さまからは、今回の不祥事に関して、「疑惑を知りつつ、推薦者・選出者側からも即座の市民に対する公式な表明がないこと」に、不信感を持っている」との声を多くいただいている。その声を今後の対応に取り入れていくことを求め、賛成討論とする。

あいまし

委員会審査

討論

採決結果

一般質問

臨時会のあいまし

決議

「わがまちトーク」開催予定

議員の抱負

基本条例実行計画を策定

議会PR

特別委員会を設置

定例会の予定

編集後記

令和5年1月16日の臨時会を開催し、提案された決議に対して討論をしました。

討論 「市民と議会のわがまちトーク」開催予定

決議第1号に賛成する。
現職議長が児童ポルノ禁止法違反で罰金30万円の略式命令が下されたことが判明し、この事実を市民にも議会にも報告せず、虚偽の説明を繰り返して、市民と議会を裏切り混乱を招いた責任は重大であり、議員辞職に至った。議員は、人としての倫理道徳が求められることを深く認識しなければならぬ。また、議員は、市民の負託を受けた舞鶴市全体を代表する者として、その役割と責任を認識するとともに、常に良

討論

決議第1号に賛成する

自民党鶴政クラブ議員団



心と責任感を持って、自らの行動を厳しく律することにより、品位の保持に努めることを議会基本条例に定めている。今回の事件は、我々市議会議員の一人ひとりが真摯に受け止め、真に市民の負託に応えられる議員活動を行うていくことを誓うものである。今後、本市議会は地方自治の本旨に返って、法令を遵守し、市民の信頼を回復するために全力を尽くすことをお誓い申し上げ、賛成討論とす

議会の防災訓練を実施

舞鶴市議会では、災害時において議会・議員が果たすべき役割を的確に果たせるように、災害対応の基本的な考え方や行動マニュアルを取りまとめ、定期的に防災訓練を実施しています。

1月18日には、まず、第1部として、会議の開催中に地震が発生した想定で、傍聴者を含めた庁舎外への円滑な避難の手順を確認しました。

続いて、第2部として、大雨により市内各地で被害が発生している想定で、議員の安否と、議員が把握した災害情報をweb上のシステムを利用して共有・伝達する訓練を行いました。

今後も、議会・議員として必要な行動を認識し、いざというときに機能するよう訓練と検証を繰り返してまいります。



▲ 避難訓練

▶ 情報伝達訓練



「市民と議会のわがまちトーク」

参加者募集

市民の皆さまと議員が舞鶴の課題や展望について一緒に考える意見交換会を開催します。下記の期間、ご参加いただける方を募集します。(各テーマにつき、5人程度)

■ 募集期間 **2月15日(水)～3月8日(水)**

※詳しくは、ホームページをご覧ください。



開催日程		テーマ	担当委員会
4月22日(土)	午前10時から	地域で活動するスポーツ団体と学校部活動との連携について	市民文教委員会
	午後1時30分から	人口減少を止めるには～移住・定住の促進について～	総務消防委員会
4月23日(日)	午前10時から	若者の地元就職を図る取組について	産業建設委員会
	午後1時30分から	生活習慣改善の推進について～市民の健康寿命延伸対策を考える～	福祉健康委員会

※会場は、いずれも中総合会館4階のホール

当選④ 谷川 眞司 議員 自民党鶴政クラブ議員団



昨年の市議会議員選挙では、大変お世話になりました。地域にしっかりと軸足を置き、初心を忘れず、舞鶴市民の安全・安心のため、議員活動、議会活動に取り組んでまいります。

当選② 田畑 篤子 議員 新政クラブ議員団



市民の手で「住みたいまち舞鶴」にする風を起こしたい。そのためには、舞鶴市政と舞鶴市議会を理解していただきたい。また、女性活躍を推奨し、活動支援をしたいと思っています。

当選② 仲井 玲子 議員 会派に所属しない議員



年4回の活動報告、うち3,000枚は自分で配布、「いじめなくそう」等の街頭演説を継続し、学童保育支援員、消防団員など現地現場主義で皆さまの声を聞ける場所に居続けます。

当選⑤ 西村 正之 議員 市民クラブ舞鶴議員団



今や自衛隊舞鶴基地は、本市にとってなくてはならない存在であります。これからも海自OB議員として、舞鶴市と自衛隊舞鶴基地の太いパイプ役として頑張る所存であります。

当選② 野瀬 貴則 議員 新政クラブ議員団



2期目のスタートとなる今年は、これまでの自分の殻を破り、一回りも二回りも成長して頼れる人間となるのが目標です。大きく広い視点で、まいつづの発展に尽力します。

当選① 廣瀬 昇 議員 市民クラブ舞鶴議員団



医療問題を何とか解決して欲しいとの市民の皆さまの負託により議会へ送り出していただきました。市民の皆さまの声にしっかり寄り添い、希望の持てる舞鶴へ市政を変えていきます。

当選① 福本 明日香 議員 市民クラブ舞鶴議員団



市民の皆さまの声を確実に届けます。母親として、また、女性として今まで声を上げにくくしていた垣根を取り払い、若者も女性も市政に関わりやすい環境構築を目指してまいります。

当選③ 眞下 隆史 議員 新政クラブ議員団



市民の皆さんに負託された4年間の始まりに際し、議会とは議員とは何か・何をすべきかを追求し、正確に伝え、皆さんに参加いただける仕組みを提案していきます。

当選① 眞下 弘明 議員 新政クラブ議員団



新人議員ですので顔を覚えていただくためにも、たくさんの市民の方のお話を聞いて衆知を集め、施策につなぎます。知行合一が座右の銘です。一生懸命頑張ります。

当選④ 松田 弘幸 議員 公明党議員団



「誠実・情熱で舞鶴発展に全力」をモットーに子どもや高齢者・障がい者支援、農林水産業支援、災害に強い舞鶴に取り組み、市民の皆さまの声を市政に反映してまいります。

当選④ 水嶋 一明 議員 自民党鶴政クラブ議員団



初心を忘れずに、これまで以上に地域はもとより本市が抱える課題一つ一つに向き合い、地域の活性化や皆さまが健康で豊かに暮らせる住みよいまちづくりに努めてまいります。

当選① 南 正弘 議員 自民党鶴政クラブ議員団



市民の皆さま一人一人が、安全・安心に住めるまちづくりに全力で取り組んでまいります。市民の皆さまの声を市政に届けてまいりますので、お声を聞かせください。

当選⑤ 山本 治兵衛 議員 新政クラブ議員団



市民の皆さまから負託を賜りまして5期目を迎えることとなりました。若きベテランとして、その責務をしっかりと果たして市民福祉の向上に努めてまいります。

● 鯛慶一議員、鴨田秋津議員の辞職により、上野修身議員、眞下弘明議員が繰上当選されました。

あらまし

委員会審査

討論

採決結果

一般質問

臨時会のあらまし

決議

「わかまち」の開催予定

議員の抱負

基本条例実行計画を策定

議会PR

特別委員会を設置

定例会の予定

編集後記

第21期

議員の抱負

当選⑥ 伊田悦子 議員 日本共産党議員団



皆さんの願いを真っすぐ議会に届け、要求実現まであきらめません。市民要求と向き合い、「住民福祉の増進をはかる」自治体本来の役割が発揮されるよう、市政をチェックします。

当選③ 今西克己 議員 新政クラブ議員団



今、このまち舞鶴は、ソフト・ハード両面にわたり、活力ある息吹きを持ち着実に歩んでいる。令和5年も市民皆さまの福祉向上と舞鶴市のさらなる発展に向け鋭意取り組んでまいります。

当選⑤ 上野修身 議員 自民党鶴政クラブ議員団



市民の負託に応えるための「議会活動」「議員活動」を目指すとともに、人との絆を大切にし、初心を忘れることなく精いっぱい努めてまいります。

当選⑦ 上羽和幸 議員 公明党議員団



変化していく時代の中において、市民にとって本当に必要なこと、市政の進むべき方向はどうあるべきなのかを常に自身に問いかけ、議員としての役割を果たしてまいります。

当選⑥ 尾関善之 議員 自民党鶴政クラブ議員団



人と人の絆、地域社会の絆を大切に安全・安心なまちづくり、商業、農林水産業の活性化、伝統文化を生かしたまちづくりに地域の皆さまと一緒に取り組んでまいります。

当選② 川口孝文 議員 自民党鶴政クラブ議員団



2期連続で市議会へと送っていただきましたことに、深く感謝いたします。初心を忘れず、安全・安心なまちづくりを第一に、今まで以上に議員活動に取り組んでまいります。

当選③ 肝付隆治 議員 自民党鶴政クラブ議員団



未来創造こそ政治の役割です。人口減少を食い止め、安全・安心で希望を持って住み続けられるまちになるよう、市民の皆さまとともに全力で舞鶴市の未来創造に取り組めます。

当選⑥ 小杉悦子 議員 日本共産党議員団



「のん気・根気・元気」障害者運動に参加し先輩に教わった「3つの気」を大切に、公約実現に全力を挙げます。市民の願いの実現に向け、市民との協働を力に頑張ります。

当選③ 小谷繁雄 議員 公明党議員団



「小さな声を聴く力」をモットーに、地域に根を張り奔走する中で、地域の課題を見つけ出し、さらなる市政の発展と市民の福祉向上に、全力で取り組んでまいります。

当選② 小西洋一 議員 日本共産党議員団



長引くコロナ禍や物価高騰で暮らしと営業が大変です。また、平和と安全も脅かされています。市民の皆さんの声と願いを真っすぐ議会に届けるために全力を尽くします。

当選③ 杉島久敏 議員 公明党議員団



『知恩報恩』の思いを自らの原点とし、舞鶴市民の皆さまに安全・安心を感じていただける分かりやすい市政を築いていく。そのため常に一歩前進の姿勢で臨んでまいります。

当選⑨ 高橋秀策 議員 会派に所属しない議員



「人の幸せとは、ありがとうと言えること、ありがとうと言ってもらえること」といつも思っています。誰もが豊かで住みよい舞鶴をつくるため、一生懸命誠心誠意働きます。

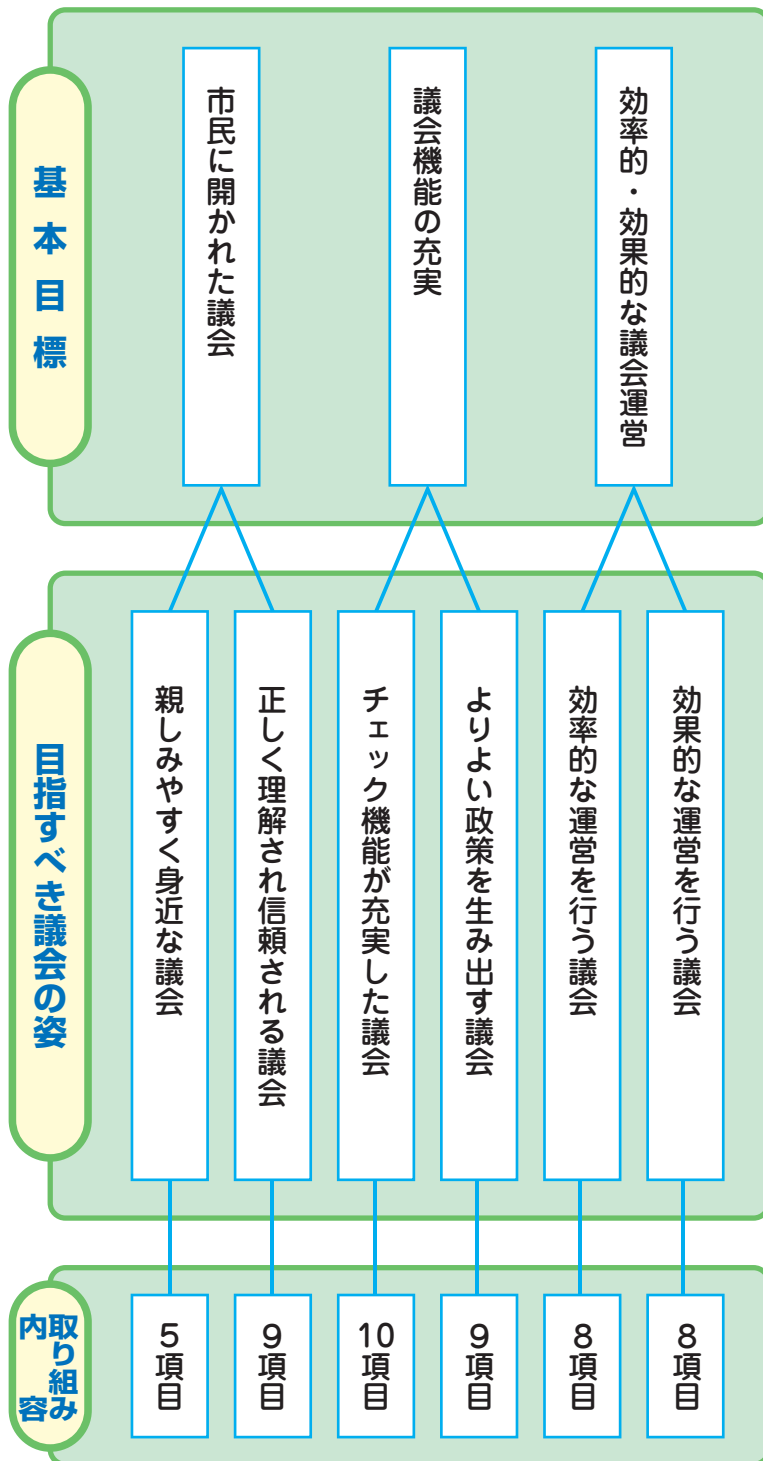
第21期舞鶴市議会基本条例実行計画を策定

第21期舞鶴市議会基本条例実行計画を策定

議会基本条例（平成30年10月5日制定）の内容を実現するための具体的な取り組みを定めた「実行計画」を策定しました。

実行計画には、3つの基本目標に沿って、目指すべき姿を設定し、そのための取り組みを定めています。

計画の内容は、ホームページに掲載しています。



計画している 主な取り組み

- 議会に関する学習の機会の提供
- 効果的な情報発信の検討
- 市民の意見を反映させる仕組みの検討
- 映像配信の充実
- 議会の仕組みの冊子の発行
- 所信表明の在り方の検討
- 議会基本条例の検証
- 議員を志す人を増やす取り組みの検討
- 舞鶴市総合計画の点検評価
- 議員間討議の活用
- 議員力の向上
- 議会図書室の充実および在り方の検討
- 代表質問・一般質問の活用
- 議案審議の在り方の検討
- 委員等の任期の検討
- 委員外議員の発言の在り方の検討
- 政策提言に向けた委員会活動
- 政策条例の在り方の検討
- 議員の定数および報酬の検討
- 先例および申し合わせ事項の見直し
- ICTの活用
- 会派の在り方の検討
- 議会における危機管理の検討
- 他市との交流・連携の促進

舞鶴市議会の情報発信 ~YouTube と Facebook~ FMまいづるに出演紹介

舞鶴市議会の情報発信 ~ YouTube と Facebook ~

舞鶴市議会 公式YouTubeチャンネル

舞鶴市議会では、議会の「見える化」を図る方法の1つとして、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」を開設しています。

本会議や委員会のライブ配信・録画配信に加えて、定例会の概要報告や委員会の活動報告など、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをご理解いただくための動画を配信していますので、是非ご覧ください。

チャンネル登録をよろしくお願いします。



舞鶴市議会 公式Facebook

「市民に開かれた議会」に向けた取り組みとして、市議会公式Facebookにて、議会活動に関する様々な情報を随時発信していますので、是非ご覧ください。

チャンネル登録や「いいね」もお願いします。

舞鶴市議会
YouTube



舞鶴市議会
Facebook



舞鶴市議会
ホームページ



FMまいづるに 出演しています

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」に議員が出演しています。

定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなことをお話ししています。



過去の放送内容も
お聴きいただけます。

今後の
放送予定

2月17日(金)

※放送日時や放送内容等については、決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

これまでの
主な放送テーマ

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「常任委員会視察報告」「本会議や委員会の傍聴について」
- 「FMまいづるとの意見交換会の報告」
- 「審議の見える化を図る取り組み」
- 「市民と議会のわがまちトーク」
- 「防災訓練」「第20期の総括」

など

次回の放送予定やこれまでの放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



議会傍聴・特別委員会設置
3月定例会の予定・編集後記

議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会等はどこからでも
傍聴することができます。

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

手話通訳者・要約筆記者を配置できます

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはFAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承の上、お早めにご相談ください。

詳しくはホームページをご覧ください。



3月定例会予定

2月

- 21日(火) 本会議(開会)
- 22日(水) } (仮称)第7次舞鶴市総合計画・後期
- 24日(金) } 実行計画に関する審査特別委員会
- 27日(月) 本会議

3月

- 6日(月) 請願受理締切
- 9日(木) 本会議(代表質問)
- 10日(金) 本会議(一般質問)
- 13日(月) 本会議(一般質問、議案質疑)
- 15日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 16日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 17日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 20日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 24日(金) 予算決算委員会 ※予定は変更することがあります。
- 29日(水) 本会議(閉会)



特別委員会を設置

12月16日の本会議において、次の2特別委員会の設置を可決しました。

① 原子力防災・安全等特別委員会

● 目的

関西電力高浜発電所等に係る原子力防災および安全性についての調査研究・審査

● 委員数 7人

② 第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画に関する調査特別委員会

● 目的

第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画に関する調査

● 委員数 24人

編集後記

「まいづる市議会だより」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。今月号から新メンバーによる発行となります。市議会の役割は、市の事務や事業が正しく行われているか、適正に管理されているか、あるいは、新しい事務事業の提案など市政全般について市長等に質問を行い、また、書類等の検閲、調査や監査委員に監査を求めると、市の仕事ぶりの目付役的な役割も果たしています。

このような取り組みを市民の皆さまに分かりやすくお伝えし、少しでも舞鶴市の市政に関心を持っていただけるよう魅力ある紙面づくりに取り組んでまいりますので、今後とも「まいづる市議会だより」を引き続きご愛読いただきますようよろしくお願いいたします。

(部会長 肝付隆治)



【議会報編集部会】

- | | |
|------------|-----------|
| 部会長 肝付 隆治 | 委員 杉島 久敏 |
| 副部会長 田畑 篤子 | 委員 福本 明日香 |
| 委員 伊田 悦子 | 委員 水嶋 一明 |